

【議長賞】楽しい給食

明和小学校 竹内 漣

ぼくは、給食の時間が大好きです。毎日給食の時間が来るのを楽しみにしています。

ぼくが好きな給食は、しょうゆラーメン、たこのからあげや海そうサラダなどたくさんあります。ぼくは毎日のようにおかわりを、たくさんします。

ぼくのお母さんは、給食センターで働いています。なので、家でも給食のメニューを作ってくれます。今までに、のりずあえ、たこのからあげを作ってくれました。でも、母は、

「どうして給食のような味が出せないのだろう。」と言っていました。ぼくも考えたけれど、分かりません。

「やっぱり、大量調理だと、うま味がでるのかな。」とも言っていました。

そこでぼくは、給食についてしつ問してみました。すると、一日に九千食も作っているそうです。何人で作っているかも聞いたら、たったの六十人で作っていました。もう一つ、どのくらい時間をかけて作っているかと聞いたら、昼前中ずつと作っていると聞きました。そうしてたくさん聞いたぼくは、作る大変さを知りました。でもお母さんは、

「作るのは大変だけれど、残食が無いときはとってもうれしい。」

なので学校みんなに減らしてほしくないなと

思い給食委員会に入りました。委員会の活動は、学期ごとに残さず食べよう週間や、給食に関するすごろくを作ったりいろいろな企画を考えて呼びかけています。それによって少しではあるけれど、減らす人が減った気がします。ぼくも苦手な給食はあるけれど、おかわりがしたいので全部残さず食べています。

夏休みのとも（五年生）にある野菜サラダを作るうを自分で作って、楽しいけれど、大変だったので、もっと一人で作る量が多い給食センターの人たち

にありがとうございますと感謝したいです。